プリンセス

小公女セーラ

第3話

『はじめての授業』

ＡＲ台本

企画
制作

日本アニメーション株式会社

プリンセス

小公女セーラ

第三話　『はじめての授業』

登場人物

セーラ……島本須美
ミンチン先生……中西妙子
アメリア……梨羽由記子
ピーター……阪本千夏
マリエット……高井早苗
ラヴィニア……山田栄子
ラーメンガード……八百板万紀

ジェシー……中野聖子
ガートルート……佐々木るん
ロッティ……渡辺菜生子
ディファルジュ先生……
シーザー……
ボナパルト……

カメラ	画面	音声
1	T・U 朝日のさしこむ寝室 写真を見ているセーラ 写真をサイドテーブルに置く	
2	A・C エミリーをふり返り、手をのばしてエミリーを抱きあげ	セーラ「エミリー、 〜 よく眠れた？ ……今日から私、あなたと二人きりなのよ……。 〜
3	A・C 頬ずりをして 立ち去るセーラ	
4	父母の写真	(off) 心配だけど頑張るつもり……」
5	エミリーに窓外を見せるセーラ （窓外の雪景色見える）	セーラ「ホーラ!! みてごらんエミリー!!」
6	目を輝かして眺めているセーラ	セーラ「……きれいな雪景色ねェ……!!」
7	雪を冠ったロンドンの屋根 PAN←（カット一杯PAN） 前の広場の大木の枝も白くなっ	

	ている	8	二階へ振鈴を鳴らして上ってくるアメリア先生（in）	8、9 カケあり↔		（カラン　カラン） アメリア「皆さあん…… ～ 起床ですよォ」 （カラン　カラン～～～～～）	
		9	二階の廊下を起こして歩くアメリア先生				
		10	飛び起きるラヴィニア ガートルートとジェシーの方を見る　モゾモゾ動く二人…… 21までカケあり←→			←～～～～～～～ （オフ）	
		11	ジェシーとガートルートおきあがる　PAN→			ジェシー「あああ、眠いわあ……」 ガートルート「あたしも、ファファファファ」	
		12	ラヴィニア			ラヴィニア「あんたたち、昨夜遅くまであの新入生の噂話してるからよ」	
		13	ジェシー　起き上がりベッドから抜け出しながら、ラヴィニアからガートルートの方を見る			ジェシー「だってえ……」	

14	ベッドから足を床につけるガートルート　ラヴィニアからジェシーの方を向く		ガートルート「ねぇ……」
15	怒るラヴィニア　勢い良くベッドから出て		ラヴィニア「なによ、少しばかり可愛くて、 〜 お父さんがお金持だってだけじゃない。 〜 騒ぐなんて変よ」
16	呆れて聞いているジェシーとガートルート		(off)
17	ラヴィニア 喋りながら右の方を見てキッとなる		
18	ラヴィニア　立ち上がって二、三歩アーメンガードのベッドに歩み寄る		
19	口をあけて眠っているアーメンガード ラヴィニアの手　Fr・inして毛布のエリをつかみ		ラヴィニア(off)「アーメンガード!!　……起きなさいってば……」

20	乱暴にひきはがす　身をちぢめるアーメンガード ドナル、ラヴィニア！ びっくりしてはね起きるアーメンガード ベッドから転げ落ちる		ラヴィニア「朝食に遅れたら、ミンチン先生に叱られるのは私なんだから！」 アーメンガード「は、はい!! 院長先生……」 （ドスン!!）
21	どっと笑うジェシーたち		二人「（笑声）」
22	窓外をエミリーと共に見ているセーラ		S・E（扉のノックの音）
23	ふり返るセーラ		セーラ「はい……どうぞ……」 S・E（扉の開く音）
24	扉開いて、湯気の立つポットを盆にのせたマリエット入ってくる――　軽く挨拶する		マリエット「お早ようございます、お嬢様」 セーラ(off)「お早よう、マリエット」
25	（マリエットを眼でおいながら）サイドテーブルにエミリーをす		マリエット(off)「昨夜、よくお寝みになれまして」 セーラ「ええ、少しだけど」

	わらせ、帽子をかぶらせる		マリエット(off)「お顔を洗うお湯をお持ち致しましたわ。それから、着替えのお手伝いを……」 セーラ「有難う、マリエット……」	
26	階段をしのび足で上るジェシーとガートルートの足 二人　普通の衣裳			
27	セーラの居間のドアがソーッと開き　PAN・UP ジェシーとガートルートがのぞきこむ　驚きの表情になる		二人「うわーッ！　すごいお部屋！」	
28	二人の見た眼でPAN ドア開きかける		(隣の部屋の声) マリエット(off)「はい、これでいっそう可愛くおなりになりましてよ」 セーラ(off)「有難う、マリエット」	
29	ハッ！　としてひっこむ二人 僅かの隙間からのぞく二人 ←PAN			

30	エミリーを抱いて踊るようにはいってくるセーラ	セーラ　「ラ、ラ、ラ、ラ、ラー（ハミング）」
31	明るく踊るセーラ セーラ　ボナパルトに挨拶する エミリーをオームの方に差し出す 叩頭するボナパルト そのとき入ってくるマリエット	ボナパルト「セーラ……セーラ」 セーラ　「お早ようボナパルト」 セーラ　「エミリーもお早ようっていってるわ!!」 マリエット「お嬢様、おぐしがみだれてます。とかしましょう」
32	いたずらっぽく笑うセーラ	セーラ　「フフフ……一寸あばれすぎたわね」
33	顔を見合わせる二人――　目をパチクリ　又、部屋の中を見る二人	
34	ぴょこんと椅子に座るセーラ マリエット来て、髪をとかし始める	セーラ　「身だしなみをきちんとしないとね…エミリー!!」 マリエット「おまたせしましたお嬢様」

35	マリエット　髪の毛をとかす		セーラ「とかしにくいでしょ、先の方がちぢれているから」 マリエット「いいえお嬢様、つやのある髪でうらやましいですわ」 〜（こぼし）〜
36	のぞいていた二人　静かに扉をしめる		
37	地下の食堂　ラヴィニア、ジェシー、ガートルート		ジェシー「ほんと凄い服……。まるでプリンセス様よ」 ガートルート「メイドに、着替え手伝わせて、お金持の娘だからって、特別扱いしすぎよねえ」
38	ガートルート、ジェシー		
39	ラヴィニア　二人の方を向いて入口の方を見て		ラヴィニア「やめてよ……あの子の話なんて、聞きたくもないわ……。遅いわよ、 〜 アーメンガード……。 〜 それから、 ロッティも」
40	あわててはいって来たアーメンガード　ラヴィニアの声に思わず立ち止まる その後からはいって来たロッティ、アーメンガードにぶつかるベソかくロッティ		ロッティ「またおこるゥ……」

	逃げていく　アーメンガード扉をしめる		
41	急に立ち上がり、目で追うラヴィニア		
42	顔を覆うようにしてちょこちょこといくが、途中止まり、手前ラヴィニアを窺い見る		
43	身をのり出してにらみつける		
44	手で顔をかくして横を向き、手前に小走り来るロッティ、泣きそうな顔で—— 自分の椅子のところに来て座る A・C		
45	椅子に座り、小さくなってうつむき、——上目使いで見る		
46	じっとにらんでいるラヴィニアとジェシイ		ジェシイ「……あんたたちがぐずぐずしてるとラヴィニアがおこられるのよ!!」 ラヴィニア「いやんなっちゃうわ……〜」

47	うつむいている　今にも泣きそうな顔		～いいめいわくよ!!　本当に!!」
48	座るラヴィニア 上目使いでラヴィニアを見てうつむいていくアーメンガード		ラヴィニア「……それも二人もいるんですものね……!!」 S・E　（扉の開く音）
49	アメリアと一緒に入ってくるミンチン　あわてて席につく二人		ミンチン「ラヴィニア……みんな揃いましたね」
50	ミンチン　一同を見廻して		ラヴィニア「はい、院長先生……」 ミンチン「では、ラヴィニア、 (off)　朝のお祈りを……」 ラヴィニア「はい……」
51	手を組むラヴィニア		
52	一同　手を組み頭を垂れる		ラヴィニア「天にまします父なる神さま、私たちに与え給うたみ恵の全てに、感謝致します。今頂く食事も私たちの良き糧となり、私たちも神様のお役に立ちますよう～御恵をたれ給え。アーメン」
53	ミンチンとアメリア		
54	ラヴィニア		
55	一同		

56	セーラの部屋で独り　祈り終えるセーラ		セーラ　「アーメン」
57	ポットから熱い紅茶を、次いでミルクを注ぎ		
58	砂糖を入れたカップをセーラの前へ置く		セーラ　「有難う、マリエット」
59	地下の食堂　PAN← オートミルの皿から食べているロッティたち		
60	ミンチン　見廻っている 年少組		
61	スプーンを持ち上げようとして落とすアーメンガードの手		（カチャン）
62	キッと見るミンチン キラリと光るメガネ		
63	あわてて拾い上げようとして又、		（カチャ）

	スプーンを落とす		ミンチン(off)「アーメンガード、スプーンの音をたててはなりません」 アーメンガード「……は、はい、院長先生」
64	そっと肩をすくめて笑いあうジェシーとガートルート		
65	紅茶をのんでいるセーラ		マリエット「院長先生に叱られてしまいましたわ」 セーラ「え……」
66	マリエット		マリエット「これからは食堂で皆さんと一緒に食事をとるようにと……。それが規則なんですって」 (off) セーラ「まあ……私、みんなもお部屋で ～ お食事する ～ のかと思ってたの」
67	意外な表情のセーラ 茶碗を下方へ……		
68	受皿におく		
69	微笑で首を振るマリエット		マリエット「今日だけは、特別に院長先生にお願いして、お部屋にお食事を運びましたの……。だって、はじめて逢う
70	セーラ		(off)

71	マリエットとセーラ		お友達の中でお食事するなんて、お嬢様がお気の毒ですもの」
72	身をのり出すセーラ		セーラ「マリエット、気をつかって下さって有難う……。でも、私、大丈夫。きっとすぐに馴れると思うわ。規則の事にも」
73	オームなめてセーラとマリエット		マリエット「そううかがうと私も安心致しますけど……。そうそう、〜
74	エミリーに手をさしのべるセーラ FOLLOW PAN エミリーを抱き上げるセーラ		(off) お嬢様のお支度が出来たら、院長室に見えるようにと」 セーラ「判ったわ、マリエット」
75	表通りを元気に駈けてくるピーター		
76	学院の中へ入っていくピーター		
77	馬小屋に入るピーター		ピーター「お早よう、ジャンプ」 (ジャンプの嘶き)

78	ポケットから出した人参をたべさせる いなないて食べるジャンプの首を叩き いななくジャンプ	ピーター「よしよし、昨夜は雪で寒かったなあ……。さ、これをお食べ」 （いななくジャンプ） ピーター「よかったなァ、お前もぼくも……素晴らしいお嬢様に備って貰ってさあ」
79	再びいななくジャンプ	ピーター「さ、お互いにしっかり頑張ろうぜ」 （いななくジャンプ）
80	セーラの部屋　エミリーに本を置いて話しかけるセーラ	セーラ「いいことエミリー……、私、これからお勉強がはじまるの……。 ～ だから、このご本を読んでおとなしく ～
81	寝室からシーツを抱えて出て来たマリエットが驚いて立ち尽くす	(off) 待っているのよ」
82		マリエット「……まあお嬢様……お人形とお話し (off) してらしたんですか」
83	ふりむいて口に指をあてて目線左（注）立ち上がる	セーラ「シイッ……」

	アクション　カット		
84	立ち上がったセーラ　目線左に		セーラ　「（小声）エミリーはね、ほんとは私たちの言葉が判ってるの……。でも、それをみんなに知られたくないのよ」
85	エミリー		(off)
86	マリエット　びっくり		マリエット「ンまあ……」
87	篭の中のボナパルトが喋る		ボナパルト「セーラ……セーラ……」
88	セーラ　歩きながら FOLLOW		セーラ　「ほら、オウムだって、お話し出来るでしょ」
89	マリエット　ほほえみながら		マリエット「そうでしたわね、お嬢様……」
90	セーラ　ボナパルトに		セーラ　「ボナパルト……あなたもおとなしく待ってるのよ」
91	ボナパルト　オウムの習性で何度も頷くように頭をたてに振る		
92	セーラ　歩き出す		セーラ　「じゃ、マリエット、お勉強に行って

	93	見おくるマリエット	
			マリエット「はい。頑張るんですよ、お嬢様」 （扉の開く音）
	94	セーラ　出て行く	
			（ドアの閉まる音）
	95	マリエット　おもしろそうに	
			マリエット「面白いことを仰言ゃるお嬢様……。 でも、なんて可愛らしいんでしょう」
	96	階段を下りるセーラ	
	97	下りてくるセーラ ハッと立ち止まる	
	98	踊り場で頑張っているシーザーが偉そうに頭をもち上げる	
	99	ゆっくりと立ち上がるシーザー	
	100	尾を直立させてにらむシーザー	
			来ます」

101	セーラ　シーザーに向かって		セーラ「あの……私、院長先生の所へ行かなくてはいけないの……。お願いだから、仲良くしましょうね」
102	シーザー　プイと横を向いたが階段を下りて行く		
103	ほっとして階段を下りるセーラ		
104	二階の階段　偉そうに下りて来るシーザー 遅れて下りてくるセーラ 一階へ向かう		
105	セーラ　下へ下りて行く 扉開いてアーメンガードとジェシー出て来る　アーメンガード制して止める 見えなくなるセーラ		
106	囁き合う二人		
107	左右を見ながら事務室へ向かうセーラ		

108	事務室の前へ来てノックする ノブに手をかけて、そっとドアを開ける		（トン　トン　トン） ミンチン(off)「入りなさい」
109	ハッと驚くセーラ		
110	セーラの足もとをすり抜けて室内に走りこむシーザー		
111	部屋に入るセーラ		ミンチン(off)「何してるんですか？　さあ、早くおはいりなさい」 セーラ　「は、はい」
112	セーラの挨拶に顔上げる院長 椅子に向かうセーラ 再び書類に眼を落とすミンチン		セーラ　「お早ようございます、院長先生」 ミンチン「お早ようセーラさん。そこのソファに腰かけて、ちょっと待っててて……」 セーラ　「はい」
113	ソファの前まで来て、ギョッと立ち止まるセーラ		

114	ソファの真中で寝そべっているシーザー						
115	少し見ていて、ソロリ、ソロリ前へ						
116	ソロソロと廻りこんで						
117	ソーッと片すみに腰おろす 横目で、チラリと見て、又眼を閉じて知らんぷり 驚いて立ち上がるセーラ A・C					ミンチン(off)「入学おめでとう……」	
118	一、二歩、セーラに近づくミンチン					ミンチン「あなたは今日からは、この学校の生徒になったのです。 〜 勉強に励むのは勿論ですが、立派なレディになるために、 〜 身だしなみや礼儀、作法をしっかり身につけて下さいね」	(off)
119							
120	九時五分過ぎ						

121	緊張しているセーラ		セーラ　「はいッ、院長先生」
122	笑って		ミンチン「そう……。うけ答えはそのようにはつきりとするのですよ」
123	椅子をひきよせて座るミンチン セーラ　元気に返事してソファに腰を下ろす		セーラ　「ハイ、院長先生」 ミンチン「さあ、立ってないでおすわりなさい」 セーラ　「はいッ」
124	シーザーのシッポに腰おろす とび起きるシーザー びっくりして立つセーラ		シーザー「ギャーオ!!」
125	机から、暖炉の上へとかけまわるシーザー		
126	暖炉から本棚の上へ FOLLOW PAN 本棚の上ですくむシーザー		
127	シーザーを見るミンチン		

128	びっくりしているセーラ 胸をおさえ、肩で大きく息をしている		
129	セーラの方を見るミンチン やさしく呼びかける はっとなって、手を下ろすセーラ		ミンチン「セーラさん…… ～ お父様は、あなたが立派なレディになって、 ～ インドに帰ってくるのを、大変たのしみにしていらしましたね。 ～ その為には、この学校の多くのシッケや規則を守って貰わねばなりません」
130	じっと見つめるセーラ		(off)
131	ミンチン		
132	セーラ　こたえて		セーラ「はい、院長先生」 ミンチン(off)「礼儀は正しく……」 セーラ「ハイ、院長先生」
133	ミンチン		ミンチン「外出には私の許可が必要です」
134	なん度もくり返すセーラ		セーラ「はい、院長先生!!」

		ミンチン「廊下を走ってはいけません」 セーラ「はい、院長先生!!」
135	ミンチン きびしい顔になっている。	ミンチン「食事の不満はもっての他です」
136	硬くなってくるセーラ 口唇 かたく結ばれる	セーラ「はい、……院長先生……!!」

＜ 前半 ・ おわり ＞

137	机から教科書を取り出し——セーラの方へ行くミンチン		ミンチン「これが、今日からあなたが勉強するフランス語の教科書です。教室の空いている席について見ておきなさい」
138	セーラに渡す 出口に向うセーラ、見送り満足げなミンチン		セーラ「はい、院長先生」
139	扉が開いて廊下へ出てくる本を抱いたセーラ、扉をしめる		
140	振り返り大きく肩で息をする前を見る	S・E（生徒のさわぐ声）	
141	教室の扉	S・E（ざわめき急に高くなる）	
142	C＃ 兼用書き足し 前に出ようとしたセーラ、一瞬ひるむ——大きく深呼吸して気分を落付けてあるき出す		
143	廊下を横切り教室の扉の方へ行くセーラ、扉の前にいき止る		

144	ノブに手をかけるが、はたと止り――くもる顔、意を決してノブに手をかける					S・E（騒し声）
145	ガヤガヤと騒いでいる子供たち一同、はっとなって扉の方を見る					
146	奥で扉があいていく、ロッテイとスーザン、たのしそうにお話をしていたが――はっとなって扉の方を見る					
147	扉、開いて入ってくるが、思わず立ちつくす（目線→）					
148	見つめるダイアナ、→クリス、リンダ					
149	見つめるラヴィニア、ガートルート					
150	キョトンと見つめている二人					

			ペネラビが衝立の蔭からのぞく
151	立ちつくすセーラと見つめる一同		
152	たじろぎ、うつむいていく（目を伏せていく——）はっとなって見る	S・E（ガタン）	
153	中腰になったラゼニア空いた席をさしている T・B		
154	顔を上げて、うすく微笑して扉をしめる前へ歩きはじめるセーラ		
155	一番前の空席に		
156	座る児童たち、じっと見つめていたがジェミーとガートルートがラビニアに囁く C#158同P	ジェシー「見て、あの子の足……あんなに足首が細くて、足だってお人形みたい……」 ガートルート「私なんて、(off) いつも太くて不恰好だって云われてる	
157			

	158	159	160	161	162	163
		渡されたフランス語の教科書を開く	開かれた頁、フランス語の単語「父」「母」「兄」「姉」などと家族の絵（初歩）	（教科書がやさしいので）		教科書を見ているラビニア肩をすくめて 鋭い視線をセーラに送る ツンとして教科書を見るラビニア 二人唖然と見合せる
のに……」 ラビニア(off)「フン、靴のせいよ……」	ラビニア「上等な靴屋で作らせれば、大きな足でも、 (off) 小さくスマートに見せられるって、お母様が云ってたわ」		セーラ「（吐息）フーッ」 ガートルード(off)「それにあのきれいな髪……くせがなくて、柔らかそう……」	ジェシー「ほんと、私なんてくせっ毛で、 毎朝困っているのに……」 ラビニア「専用メイドに手入れさせるだけよ。髪だって黒すぎるし、近くで見るとみんなが云う程きれいな子じゃないと思うわ」		

164	身のすくむ思いのセーラ 顔上げる		ドアの開く音（カチリ）
165	あわてて衝立の方へ逃げるように去る幼年組と自習するふりをする年長の二人		
166	ドアからはいってくるミンチン		
167	一斉に本を拡げて自習のふりをするジェシーたち		
168	満足げにうなづき扉をしめて教卓の方へ（気どって、気どって）		
169	教卓の前で止って一同を眺めて セーラに目線を移して 立上るセーラ	ミンチン「セーラさん、前に……」 セーラ「はい」	
170	ミンチンの傍に来て、一同の方に向き直るセーラ ミンチン、セーラの肩に手をかけて		ミンチン「皆さん……新しいお友達を紹介します……」

171	セーラ	(off) セーラ・クルーさんです」 セーラ「セーラです、よろしく」
172	見つめる一同	
173	後の地図を下ろすミンチン、ラヴィニアを見て	ミンチン「ラヴィニア……」
174	立上るラヴィニア 教卓の方へ	ラヴィニア「はい」 ミンチン(off)「インドのボンベイを指して……」 ラヴィニア「はい」
175	教卓へ来たラヴィニア、ミンチから手渡された教鞭でボンベイを指す。鞭をミンチンに返して戻るラヴィニア	ミンチン「そう……席に戻って……」
176	地図を指すミンチン	ミンチン「セーラさんは、この学校で、(off) 立派な教育を受ける為に……遠いインドからはるばる船で希望峰を廻って、このロンドンまで来たのです」
177	教鞭で世界地図をたどる（希望峰廻り）	

178	セーラをふり返って	ミンチン「そうですね、セーラさん」
179	当惑して云いよどむセーラ	セーラ「あ、あのー……」
180		ミンチン「どうしたの？　セーラさん、はっきりおっしゃい」
181		セーラ「あのー……わたくし、
182		(off) スエズ運河から地中海を通って来たのですが……」
183	一瞬、絶句、感情的になって…気をとりなおし無理に笑顔を作ろうとするがヒキツル、ミンチンをじっとみつめるセーラ	ミンチン「えっ!!……そんな事はどうでもよろしい……エヘン……エヘン……（咳ばらいして）では、皆さん……　セーラさんと仲良く勉強するように……」
185	眼を見交わせて忍び笑うジェシーとワートルート顔をあげて	一　同「はーい」
186	席の方へ戻るセーラ	ミンチン「セーラさん、席に戻りなさい」

187	坐るセーラ、教科書を見る（C 129）	ミンチン(off)「セーラさん、そのフランス語の教科書は開いてみましたね」 セーラ「はい」
188	ミンチン、セーラに	ミンチン「よろしい……この学校ではフランス語の授業に特に力を注いでいます。 (off)あなたのお父様も、その事を大変喜んでおられました」
189	セーラ、顔上げて	セーラ「あの……」
190	キッとなる、ミンチン	ミンチン「なんですかセーラさん……、又、なにか？……」
191	ミンチンの迫力に云い出し難いセーラ	セーラ「いえ、あの……私……正式にフランス語を習った事はないんですけど……」
192	急にご機嫌になるミンチン（自分がフランス語が苦手だから）	ミンチン「あら、何事かと思ったら、そんな事、心配してらしたの…… (off)いいんですよ、そんな事、気になさらないで……普通、世間一般では、
193	ラヴィニアたち、優越の忍び笑い	

194	アーメンガードは同情的（フランス語は苦手）	
195	得々と話すミンチン。困るセーラ	あなたの年頃ではごくあたりまえのことなんですよ…… まして、外地で育ったりした方は特にね」
196	訴えようと……	セーラ「でも……あの……」
197	ミンチン、にこやかに	ミンチン「まあ、余計な心配しないで、デュファルジュ先生について しっかりお勉強なさい……ひと月もすればフランス語で挨拶ぐらいは出来るようになりますよ。
198	セーラの方へ近づくミンチン	
199	セーラ、見守る	
200	ミンチン	要するに外国語を身につける秘訣は、毎日、根気よく、続ける努力が一番大切なんですよ……いいですか、セーラさん」
201	仕方なくうなづくセーラ	セーラ「……」
202	一同を見て	ミンチン「では、デュファルジュ先生をお呼びして来ます。

203A	扉を開けるミンチン 云い残して教室を出るミンチン		静かにお勉強を続けなさい」
203B	身をちぢめている幼年組と奥に見える年長組		
204	アーメンガードの方をみてからかうジェシー（そって）		ジェシー「（ミンチンの口真似をして）でも、時にはいくら努力しても、ダメなひとがいますのよ」
205	うつむく、アーメンガード		一同「（笑う）」
206	爆笑にあたりを見て、標的が後のアーメンガードと気付くセーラ、ふり返るセーラ		ジェシー off「セーラ」
207	ジェシーとガートルートがセーラの前にアーメンガードを指してふり返って、アーメンガードを見ていたが、スッと立上る		ジェシー「まづ、学校一のノロマさんを紹介するわ。特にフランス語にかけてはミンチン先生も真っ青のアーメンガード」 一同「（爆笑）」
208	顔上げるアーメンガード		セーラ「アーメンガード……よろしくねッ」

	不器用に立ち上って	アーメンガード「（おずおずと）よろしく」	
209	セーラをひっぱり出す、ジェシーとガートルート立止って	ジェシー「さあ、皆を紹介してあげるわ、来て」 ジェシー「あ……そうだ。私ジェシー……あなたより三つ年上の筈よ」 ガートルート「私はガートルート。同じくあなたより三年先輩よ」 セーラ「よろしく」	
210	ラヴィニアへT・U	ジェシー(off)「ラヴィニア・ハーバート。この学校の代表生徒よ」 ガートルート(off)「お父様はアメリカで油田持ってるの」	
211	頭さげるセーラ ラヴィニア、立上り威厳をもって頷く	セーラ「よろしく」	
212	後に集って来る一同 ドルシラ	ラヴィニア「あとは私が皆を紹介するわ…… ドルシラ……」	
213	会釈して左へ、リンダ前へ	(off) お父さんは、炭坑の重役さんよ、	

	リンダ会釈後にクリスティーン		リンダ……お父さんは、鉄道会社の技師長……」
214	会釈するセーラ		クリスティーン「（アイルランド）から来た子」
215	紹介するラヴィニア、眼線ダイアナからセーラへ		ラヴィニア「ダイアナ……とてもお酒落さん」
216	ダイアナすまして膝をかがめるジェニファ、首すくめて舌を出す		ラヴィニア(off)「ジェニファ……いたずらっ子」
217	にっこりとするセーラ、軽く頭を下げる		
218	手前から入っていく（ちょこちょこと）ペネラビラブニア・ペネラビの方を見て、セーラ、向いて		ラヴィニア「……今度は小さい子……ペネラビ……」
219	可愛いく腰をまげるペネラビー退いて――前へ出るジェイン、軽く腰をまげる（共にセーラは		ラヴィニア(off)「……お医者さんの子」 ラヴィニア(off)「ジェイン、お父さんは工場長…」

	軽く腰をまげる）		
220	スーザンが去って、後がいない		ラヴィニア「スーザン……軍人さんの子、そして、学校一の泣き虫、ロッティ」 一同「（笑声）」 ロッティ「ああん、またワルクチ云う……ウ……ウ……」
221	ロッティを指して ベソかくロッティ だだをこねるようにあばれる セーラ、泣くロッティの方へ腰をかがめて A・C		
223	今にも泣き出しそうなロッティを慰めるセーラ ラヴィニアの声にふり返る		セーラ「ロッティちゃんはいくつなの？」 ロッティ「ウッ……ウッ、よっつ……」 ラヴィニア(off)「セーラ……」
224	立上りかけるセーラ A・C		ラヴィニア「ね、あなたはじめてお父様と来た時、ミンチン先生になんと云われて？」
225	立上るセーラ		セーラ「えッ?!」
226	ジェシーがミンチンの声色でオーヴァーなゼスチュアで		ジェシー「まあまあ、なんてお美しいお嬢様でしょう。それに、とても利巧そうでいらっしゃる……」

228	当惑するセーラ	セーラ「え、ええ……」 一同「（笑声）」	
229		ラヴィニア「私もそう云われたのよ」 ジェシー「あの人、はじめて来た父親には、みんなお世辞云うのよ」	
230		ガートルート(off)「親がお金持だと見ると特にね」	
231		ラヴィニア「だから、あなたがその通り美しくて利巧だなんて思ったら大間違い。それだけは教えといてあげるわ」	
232	茫然と立ちつくすセーラ…間… 一同、扉の方を見る ラヴィニア、立上る、指示する 一同、慌てて席へ戻る	デュファルジュ(off)「エヘン、エヘン（廊下で咳払い）」 ラヴィニア「……みんな！　席に戻って」	
233	席につく一同、走って去る幼年組		
234	静まった教室にはいってくるデュファルジュ	デュファルジュ「ボンジュール、マドモワゼール……」	

	と、続いてミンチン		
235	一人俯向いているセーラその前に立止って		一同「ボンジュール、ムッシュウ……」 デュファルジュ「ほう、この子でしたな、私の新しいフランス語の生徒は」
236			ミンチン「そうですの、デュファルジュ先生…処が」
237	セーラ俯向いている		ミンチン(off)「この子はインドで育った故かフランス語と聞くだけで毛嫌いしてるようで、困ってますの」
238	デュファルジュ、セーラをのぞき込んで		デュファルジュ「ほう、それは残念ですな、マドモワゼル」
239	思いきって顔をあげるセーラ		セーラ「違うんです。私、フランス語が嫌いではないんです」
240	ミンチン		ミンチン「なにが違うんです。第一、先生にお話する時は、席を立ってお話なさい」(off)
241	囁き合うジェシーたち		
242	席を立つセーラ、顔にT・U		

	フランス語で喋りはじめる		セーラ「Professeur Dufarge…… Ma mère, est Francaise, langue natale est le Francais J'ai compté dire que ce livre est trop facile, mais, je ne lái pas pu……」
243	驚く二人		
244	セーラ		
245	驚くラヴィニアたち		
246	アーメンガードたち		
247	デュファルジュ、ミンチンびっくり 唖然と立ちつくすミンチンに楽し気に振返る		デュファルジュ「……オウ……ウィ、ウィ、ウィ……マドモワゼル…… 聞きましたかミンチン先生…… off この子は、こう話したのですよ…… 私の母は、フランス人です、私はフランス語で育ちました…… ですから、この教科書では、 私にはやさしすぎるのです……そう云おうと思ったのですけど、うまく云えなかったのです……とね」
249	デュファルジュから、セーラへ視線移すミンチン		
250	セーラ		
251	247 254 同 P		

252	ミンチン「！」	ミンチン「まあ……」
253	ラヴィニアたち、ア然	
254	デュファルジュ、肩をすくめて	デュファルジュ「この生徒には、私が教えることは、あまりないようですな」
255	セーラ	デュファルジュ(off)「発音と云い、言葉づかいと云い、素晴しい。フランス人そのものです」
256	ミンチン、怒りに震える手 PAN・UP 抑肩を逆立てる	ミンチン「な、なぜ、それを隠していたのです」
257	とまどうセーラ	セーラ「いえ、隠していたのでは……云おうとしたのですけど、なんだかうまく云えなくて……」
258	囁きあって、首をすくめてクスクス笑う、ジェシーとガートルート、慌ててもとの姿勢に	一同「(ざわつく)」 ミンチン(off)「静かに……静かになさい……」
259	オトナシク姿勢良い一同、震えているミンチンを見つめるデュファルジュ	

260	一同の方から、セーラに向きなおり		ミンチン「セーラさん、あなたのやったことは宥せません！」
261	ハッと顔上げるセーラ		
262	ドアに向って身を翻す		ミンチン「あなたは……この私をまんまとだましたのです！　これは、私に対する重大な侮辱です！」
263	うつむいているセーラ		
264	ドアに向って歩いて行く出て行く		
265	唖然と見送るデュファルジュフランス風に大手を拡げ、肩をすくめる		
266		一同「（笑声）」	
267	教卓の方へ向うドアの方を見ていた後うなだれる、ふり返るセーラ		ジェシー(off)「セーラ……セーラ」

268	ジェシー、手で招く		ジェシー「やったわね、あなた」 セーラ「え?!」 ガートルート「フ、フ、ミンチン先生はね、本当はフランス語が苦手なのよ」
269	唖気にとられ、二人を見くらべる		ジェシー「あなたが話したフランス語、半分も判ってないと思うわ」
270	ふり返るセーラ		セーラ「でも……私、先生を侮辱するつもりなんて、なかったのに……」 ラヴィニア(off)「もう、遅いわ……」
271	冷笑を浮べて話すラヴィニア		ラヴィニア「あの人、きっと一生あなたを憎み続けるわ (off) 凄く執念浮いんだから」
272			
273	ニヤリと笑って、正面を向くラヴィニア		
274	茫然とするセーラ ハッと教卓の方を見るセーラ		デュファルジュ(off)「セーラ……セーラさん」
275			デュファルジュ「さあ、席へ戻りなさい」

	慌てて席へ戻るセーラ		セーラ「は、はいっ」 デュファルジュ「では、君の苦手なフランス語の授業を始めるとしましょう……」 一同「（笑声）」
276	つられて少し笑顔をとり戻すセーラ		
277	バタンとしまるドア		
278	シーザーを抱いていたアメリア驚いて立ち上る		
279	アメリアに目もくれず通り過ぎる（ゆっくりと）ミンチン		
280	座り頭をかかえるミンチン		
281	心配そうに見て前へ出るこめかみをおさえるミンチン		アメリア「お姉様、どうなさったの？」 ミンチン「なんでもありません！」 アメリア「でも顔色が……また頭痛ですのね、今、お薬を」
282	出口に向おうとするアメリアの		

	背に鋭く その語気に吃驚するアメリア 立止る 思わずアメリアの腕に力がはいり、驚いてとび出すシーザー		ミンチン「いりません、そんなもの」 シーザー「ギャオ！」
283	ソファの後にかくれるシーザー		
284	ミンチン頭をおさえて けげんな表情をするアメリア		ミンチン「……あの子には……注意する必要があります」 アメリア「え……」 ミンチン「セーラ・クルーです……」 アメリア「……?!」
285	ソファの後からのぞくシーザー		
286			ミンチン「あの子は父親や使用人にちやほやされすぎて人を傷つける事など平気なのです」
287	怪訝そうなアメリア		アメリア「でも、セーラさんは、とても良い子だと思いますわ。 お姉様もあの子はこの学校にとって、
288			

	手をおろして、顔を上げるミンチン		大切な生徒だと」 ミンチン「判ってます。
289	アメリア		
290	手と手を強く握りあわせる		(off)でも、あの子は徹底的に矯正する必要があります。 この、私の手で」
291	困惑するアメリア		
292	じっと口唇をかみしみ考えるミンチン O・L		
293	ダンロの丈　T・B エミリーをだいたセーラ、ジッと考えている (火の照り返し　ハイライト)		
294	ベッドにすわっている		
295	父と母の写真を見つめるセーラ		
296			セーラ(off)「お父様……私、ほんとうにミンチン

297	写真に心中を語りかけるセーラ	
298	寝室、俯瞰	
299	エミリーを抱きよせる、悲しみのセーラ F・O	

先生を、
侮辱してしまったんでしょうか……
私、判って頂くために、
フランス語で云うしかなかったんです」

E
N
D